

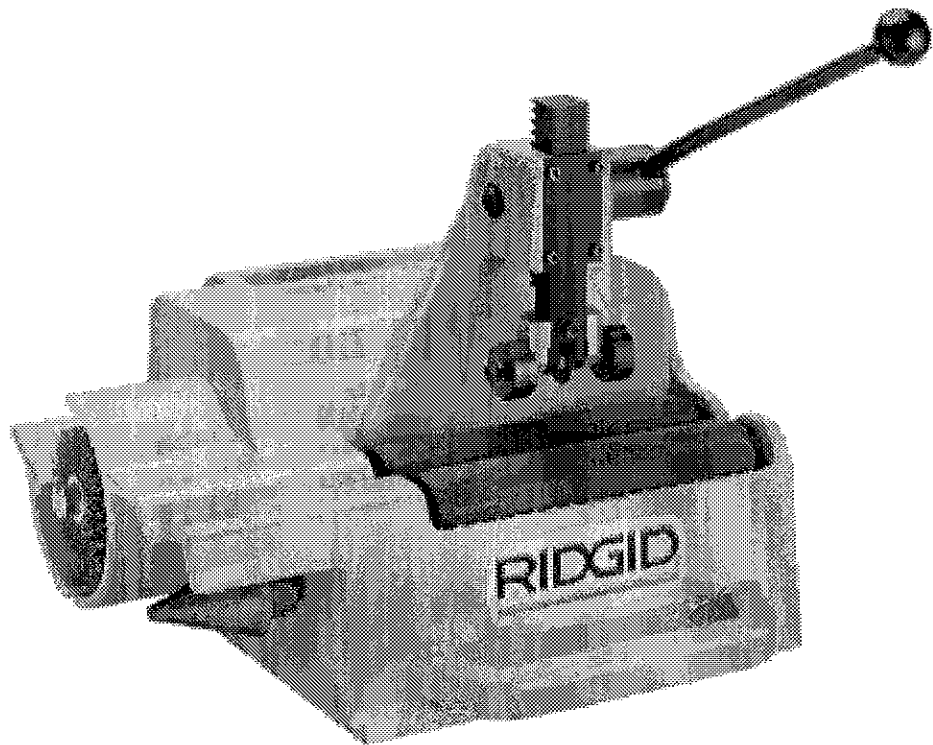
RIDGID®

122

OPERATOR'S
MANUAL

122 高速管端加工機

取扱説明書



御使用前に取扱説明書をよく読んで下さい。

999-998-334.10
11/2009

安全にお使い頂く 為に

- この取扱説明書をよく読んで御使用下さい。
- 電源は必ずアースを取って下さい。
- 濡れる場所や湿気がある場所での使用は止めて下さい。
- 電源コードを引っ張らないで下さい。
- 衣服などが機械に巻き込まれない様に注意して下さい。
- 電源プラグを入れるときはスイッチがOFFになっていることを確認して下さい。
- 電源プラグや機械に濡れた手で触れないで下さい。
- 機械の無理な使用はしないで下さい。
- 使用前に機械や部品に損傷が無いことを確認して下さい。
- 122 をパイプの切断やバリ取り、研磨以外の目的に使用しないで下さい。
- 機械は水平な場所にセッティングして下さい。
- 長尺パイプを加工するときにはパイプサポートを使用して下さい。
- 曲ったパイプを切断しないで下さい。

仕様と標準附属品

仕様

能力 銅管 1/2" ~ 2"
SU管 8 SU ~ 60SU

モーター 100V 50/60 Hz 1/3HP 1750RPM

定格電流 6.0 A

重量 22.7 kg

標準附属品

122 本体 Cat. No. 93492

リーマ

外面研磨ブラシ

オプション

カタログ No.	品名
41605	外面バリ取りディスク
93717	1/2" 継手用ブラシ
93722	3/4" 継手用ブラシ
93727	1" 継手用ブラシ
93732	1 1/4" 継手用ブラシ
93737	1 1/2" 継手用ブラシ
93742	2" 継手用ブラシ
93717	クイック・チェンジ・アダプター
93712	継手用ブラシ・ホルダー
93707	継手用ブラシキット -1/2", 3/4", 1", 1 1/2", 1 3/4", 2" ブラシ -クイック・チェンジ・アダプター -継手用ブラシ・ホルダー -スペア刃 (E-2191)

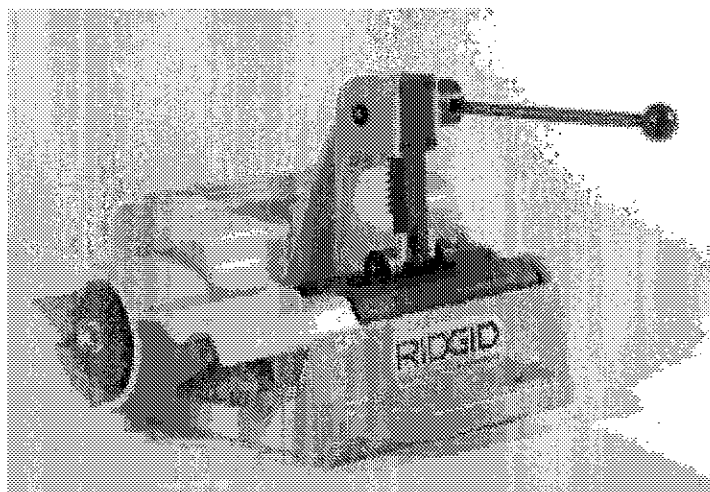
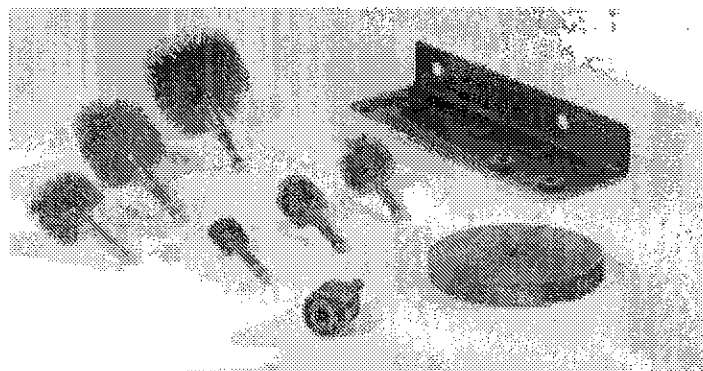


図 1 122 管端加工機

図 2 オプション



オプションの取付け

継手用ブラシ及びホルダー

1. 付属の 2 本のネジでブラシホルダーを 122 本体に取り付けます。
2. クイックチェンジアダプターをフロントローラー（手前側のローラー）の軸に取付け、付属の止めネジで固定します。このとき、止めネジが軸の平坦部に当たるように取付けて下さい。

外面バリ取りディスク

1. 外面バリ取りディスクは外面研磨ブラシの奥側に取付けます。(図 3)
2. 外面ブラシを取外す為、シャフトの（本体近くにある）平坦な部分をシャフトが回転しないようにつかみます。
3. ナット及びワッシャーを取外します。
4. 外面ブラシ及びスペーサーを取外します。
5. 外面バリ取りディスクを、F-4697 とスタンプされた面を機械側に向けて、シャフトに取付け、続いて外面ブラシを取付けます。スペーサーは外面バリ取りディスクを取付けるときには必要ありません。
6. ナット及びワッシャーを、シャフトを固定しながら取付けます。ディスクが空転しないよう、充分なトルクで締付けて下さい。

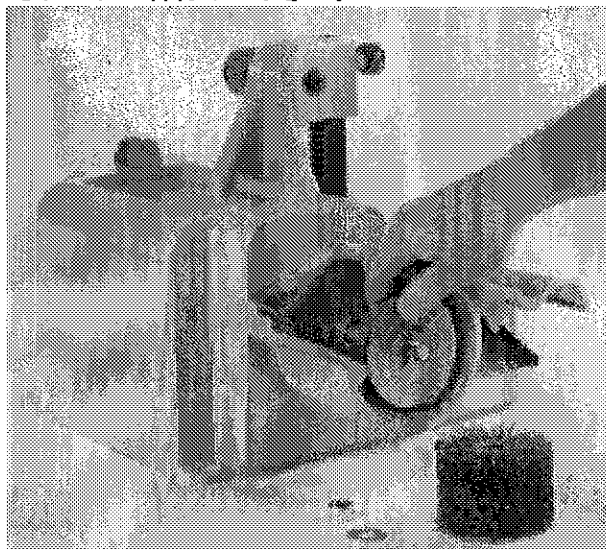


図 3 外面バリ取りディスクの取付け

機械の検査

1. 機械の電源が抜けていること、スイッチが OFF になっていることを確認して下さい。
2. カッターホイール及びリーマブレードが摩耗したり損傷していないか確認して下さい。
3. 電源コード及びプラグが損傷していないか確認して下さい。もし何らかの損傷がある場合には交換するまで機械を使用しないで下さい。
4. ローラーについた汚れやゴミをきれいに取って下さい。ローラーが汚れていると機械本来の能力が出ない場合があります。
5. 機械の損傷や部品やネジの脱落、損傷が無いか確認して下さい。もし何らかの損傷や欠陥がある場合には解決するまで使用しないで下さい。
6. 必要なら、メンテナンス要領に沿って、機械に潤滑油を補充して下さい。
7. 材料、サイズに合った、純正のカッターホイールやオプションパーツを使用して下さい。純正品以外のパーツを使用すると危険な場合があります。
8. ハンドルや他の操作部に付いた油やグリス、汚れを拭き取って下さい。
9. リーマや外面ブラシを覆っているガード部に損傷がないか確認して下さい。

機械及び作業場のセッティング

1. 作業場所について下記のことをチェックして下さい。
 - 十分な明るさの照明があるか。
 - 引火しやすい液体やガスが無い。
 - 電源はアースされているか。
 - 電源やコードの近くにコードを傷つける可能性のある、熱源やオイル、鋭利な物、可動物が無い。
 - 機械及び作業者は湿った場所にあるか。湿気のある場所に立って機械を操作しないで下さい。
 - 地面は水平か。

2. 作業前に、作業場所をきれいにして下さい。工具やゴミなどは取り除いて下さい。
3. ON/OFF スイッチが OFF の位置にあることを確認して下さい。
4. 機械を平坦な場所に置き、作業台の水平を出して下さい。機械の後部にある穴と作業台をボルトで固定して下さい。

警告 機械のセッティングのミスは重大な事故になる可能性があります。

5. パイプが機械から 1m 以上はみだすときは、パイプスタンドを使用して下さい。
6. コードの周囲に危険物がないか確認して、電源プラグを電源に差込んで下さい。延長コードを使用する場合、損傷のないものを使って下さい。

警告 感電を防ぐ為、電気配線部が濡れないようにして下さい。

操作方法

パイプの切断

1. 切断する長さを決めパイプにマーキングします。曲ったパイプは使用しないで下さい。

注意 曲ったパイプを切断しようすると、異常な振動が起こります。パイプが曲っているときは手動のチューブカッターを御使用下さい。

2. カッターハンドルを一番上まで持ち上げます。(図4)
3. マーキングがカッターホイールの真下にくるようにパイプをローラーの上に置きます。パイプが1m 以上機械からはみだすときは、パイプスタンドを使って下さい。
4. バランス良く操作出来るように、操作位置を決めます。(図4)
 - カッターハンドルとドライブロールの正面に立ちます。
 - ON/OFFスイッチにすぐ手が届くことを確認して下さい。
 - リーマやブラシに手を近づけないで下さい。

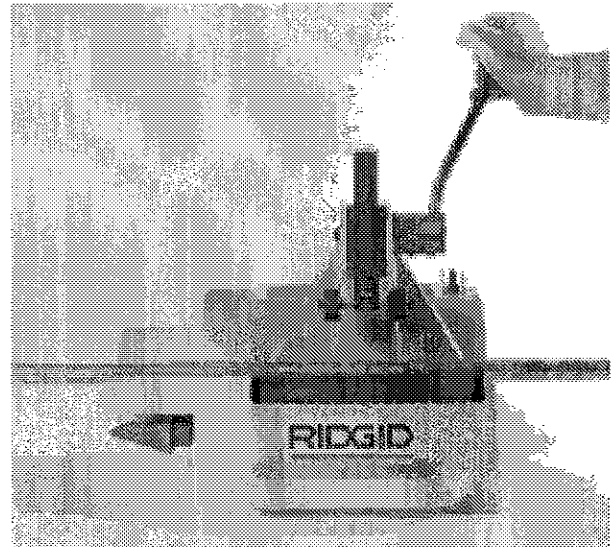


図4 正しい操作位置と機械のセッティング

5. ハンドルを右側に倒して、操作性のいいハンドルの位置を決めます。カッターホイールがマーキングの位置に来ることを確認します。
6. サポートローラーがパイプに当たるまでハンドルを下げます。(図5) この状態でスイッチを ON にします。

注意 パイプが回転します。手を管端に近づけないで下さい。

7. ハンドルをゆっくり押し下げます。パイプが切断されるまで押し続けて下さい。決して無理に押ししないで下さい。カッターホイールの損傷の原因になります。
8. ゆっくりとハンドルから手を放します。しかしサポートローラーはパイプに当たっています。サポートローラーがパイプの落下を防ぎます。(図6)



図6

切断後、サポートローラーがパイプの落下を防ぐ

9. スイッチを OFF にします。
10. パイプを機械から取出し、ハンドルを一番上まで上げます。

外面研磨

1. スイッチを ON にします。
2. パイプの端部をレストプレートに置きます。パイプの長さが 2m 以上あるときはパイプスタンドを使用して下さい。

警告 パイプサポートは作業性を確保するために必要です。

3. パイプをブラシに軽く押し当てゆっくりとパイプを回します。(図7)

警告 手を回転部に近づけないで下さい。

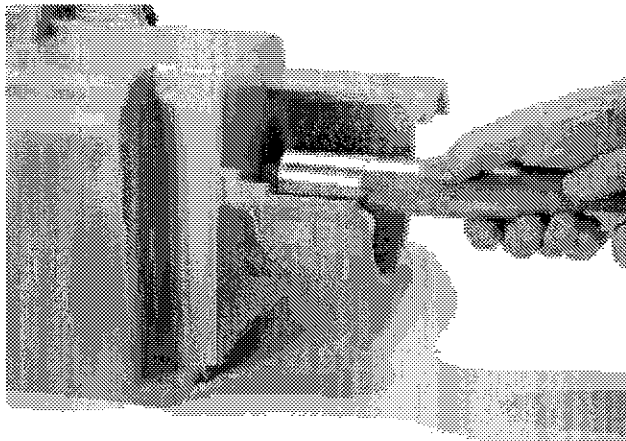


図7 外面研磨

4. スイッチを OFF にします。

内面リーマ

1. スイッチを ON にします。
2. 管端の内面をリーマコーンに軽く押し当てない面のバリを取ります。(図8) 長尺のパイプを加工する場合はパイプサポートを使用して下さい。

警告 リーマコーンに手を近づけないで下さい。

3. スイッチを OFF にします。

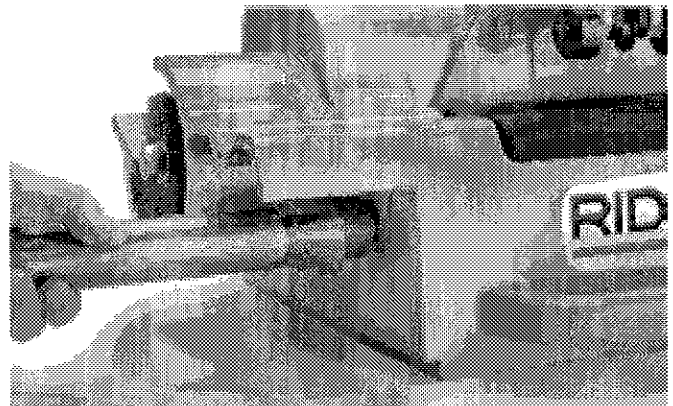


図8 内面リーマ

外面バリ取り

注) 外面バリ取りディスクは別売です。

1. ON/OFF スイッチを OFF にします。
2. パイプをレストプレートに置き、外面のバリを取ります。パイプが 2m 以上のときはパイプスタンドを使用して下さい。
3. パイプをバリ取りディスクに当てながら回転しバリを取り(図9)、継手を入れやすいように、端面を面取りします。
4. スイッチを OFF にします。



図9 外面バリ取り

継手内面研磨

注) 継手用ブラシは別売です。

1. 継手のサイズとブラシのサイズが合っているか確認して下さい。必要なら正しいサイズのブラシに付け替えて下さい。

2. スイッチを ON にします。
3. 継手をブラシに押し付けます。(図 10) 継手が回転しないようにしっかりと固定して下さい。
4. スイッチを OFF にします。

オプション

警告 122 用純正付属品は下記のものだけです。

純正品以外のツールを 122 に使用すると危険な場合があります。下の表のものだけ御使用下さい。

カタログ No.	品名
41605	外面バリ取りディスク
93717	1/2" 継手用ブラシ
93722	3/4" 継手用ブラシ
93727	1" 継手用ブラシ
93732	1 1/4" 継手用ブラシ
93737	1 1/2" 継手用ブラシ
93742	2" 継手用ブラシ
93717	クイック・チェンジ・アダプター
93712	継手用ブラシ・ホルダー
93707	継手用ブラシキット -1/2", 3/4", 1", 1 1/2", 1 3/4", 2" ブラシ -クイック・チェンジ・アダプター -継手用ブラシ・ホルダー -スペアホイール(E-2191)

替刃及び替ブラシ

型式	カタログ No.	品名
E-2191	33175	カッターホイール
—	42295	外面研磨ブラシ

メンテナンス要領

警告 機械のメンテナンスや調整を行うときは必ず電源コードが抜けていることを確認して下さい。

機械の潤滑

ラック & ピニオンやホイールシャフトにはオイルを切らさないようにして下さい。

注) ローラーは潤滑しないで下さい。

ローラー

ローラー部は常に清潔に保って下さい。

カッターホイールの交換

切断面がギザギザになってきたらカッターホイールの摩耗が考えられます。

1. ショルダーボルトを緩めホイールスライドを外して下さい。(図 11A) このときショルダーボルトがアーバーに付いた状態のままテンションスプリングが外れていない様にして下さい。
2. カッターホイールシャフトを取外し、ホイールを交換します。(図 11B)
3. ホイールスライドを取付けショルダーボルトを締めます。



図 11A ショルダーボルトを緩める



図 11B カッターホイールシャフトを取外す

ブラシの交換

研磨が充分に出来たときはブラシの摩耗が考えられます。

1. シャフトを固定します。(本体近くの平坦な部分をつかんで下さい。)
2. シャフトからナットとワッシャーを外しブラシを交換して下さい。
3. 再びシャフトを固定しながらナットとワッシャーを取付けます。

リーマブレードの交換

リーマが欠けたり切れなくなったときはリーマブレードを交換して下さい。

1. 付属の六角レンチで止めネジを外しリーマを取外します。
2. ブレードを固定している2ヶ所のネジを外し、ブレードを交換します。
3. リーマをシャフトに取付け、止めネジがシャフトの平坦な部分に当たるよう、しっかり固定します。

電気配線図

